

# たまなん 多摩南ミニ通信

(財)東京都保健医療公社  
多摩南部地域病院  
地域医療連携室第54号  
平成14年9月発行

放射線科では身体を調べるために、様々な画像診断が行われています。

今回はその中の一つR I 検査についてご紹介いたします。

## R I (ラジオアイソトープ) 検査とは

R I 検査は、病院によってはアイソトープ検査あるいは核医学検査などと呼ばれています。放射性同位元素 (R I) を静脈から注射し、体の中から放出される放射線の強さや、時間的な変化・分布のようすを画像にして、各臓器の形や変化と働きを調べる検査です。

## 検査の目的

甲状腺、肺、肝臓、骨、心筋など臓器や腫瘍の形態的診断と甲状腺、腎臓、血管などの機能的診断です。例えば、脳の検査では、血流状態を観ることにより、脳血管障害、脳腫瘍、てんかんなどを診断することができます。また、心臓検査では、心筋血流障害、心機能の予後、交感神経機能、代謝機能などが診断できます。

## 検査でわかる病気

甲状腺機能亢進症、甲状腺腫瘍、肝硬変、肝がん、肺梗塞、リンパ節腫脹、骨の病気・がん、心臓の病気、脳の病気、腫瘍や転移病巣の有無や大きさを調べることもできます。

## 検査の流れ

放射性物質を使う検査なので、R I (アイソトープ) 検査室という特別な部屋で行います。R I は体内に入っても害は少なく、また、有効期限は極めて短いため、検査予定日の朝、病院に届いた薬を、その日のうちに使はなければなりませんので全ての検査は予約が必要です。

検査の性質上、目的の臓器に薬が集まるまで1~3時間待っていただいたり、朝の絶食、服用中の薬の一時中止などが必要な場合もあります。

検査は専用のベッドに静かに横になっている間に行われます。

検査は15分から1時間以内に終了する検査がほとんどですが、注射をして2~3日後にもう一度来院が必要な検査もあります。

装置：デジタルガンマカメラ  
E, CAM+GMS-5500A/PI

